

UNI
TE
D

FOO
DS

**INTER
NATI
ONAL**

**2023
ESG
Report**



Humming Bird未来基金活動内容



UFIグループは、Humming Bird未来基金の理念に賛同し、持続可能な社会の実現に向け、社会貢献活動を行っております。

2013年8月	公益財団法人日本盲導犬協会への募金活動を開始	
2017年5月	「児童未来基金」発起人会を発足	
6月	「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援を開始 NPO法人 Tokyo Smile Foundation への寄付	
12月	発起人会 東都クラブ 京葉ボーイズへ活動支援として寄付 「ライラック少年少女合唱団」へ活動支援として寄付を開始	
2018年3月	第2弾「ライラック少年少女合唱団」へ活動支援	
5月	SAKURAJOSUI KITCHEN オープン（募金の設置と呼びかけ）	
7月	東日本豪雨で被災した子供たちへの支援	
8月	SAKURAJOSUI KITCHEN での種村国夫チャリティー企画開催 平成30年度「未来を担う私たちの主張（青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
2019年1月	「自動未来基金」の名称を「Humming Bird 未来基金」へ刷新	
2月	第1回 UFI Carnation 新設立総会開催 第2弾「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援 NPO法人 Tokyo Smile Foundation へ寄付	
8月	平成31年度「未来を担う私たちの主張（青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
9月	UFI USA30周年記念パーティーにて、盲導犬育成募金を設置	
2020年2月	第3回 UFI Carnation 総会 Humming Bird 未来基金 1. 「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援 NPO法人 Tokyo Smile Foundation へ寄付 2. 誰も取りこぼさない社会をつくる。こども食堂への支援 NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえへ寄付	
8月	令和2年度「少年の主張大会（旧：青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
11月	障害者施設「朝日園」（香川県）：送迎用福祉車両導入支援金として寄付	
2021年4月	UFI ライフサイエンス(株)企画「日本製サージカルマスク」を 土浦協同病院、龍ヶ崎済生会病院、公平病院へ寄贈	
8月	令和3年度「少年の主張 埼玉県大会」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
2022年3月	チャリティーフェア開催（売上金の一部を寄付） 3月23日～25日 ファンシーフーズ工場直売店 3月29日～4月2日 SAKURAJOSUI KITCHEN	
2023年5月	少年の主張大会への5年間にわたる協賛に対して、 埼玉県知事の大野元裕氏より感謝状を授与	

その他の社会貢献活動

- ・ウクライナ緊急支援 募金活動
- ・小児がん患児、患児家族への支援活動団体「一般社団法人 みんなのレモネードの会」への寄付
- ・虐待や貧困などの問題を抱える子供たちへの支援団体「認定 NPO法人 3keys (スリーキーズ)」への寄付
- ・公益財団法人日本少年野球連盟東日本ブロックへの寄付

会社概要

名称	UNITED FOODS INTERNATIONAL株式会社	売上高	UFIグループ合計780億円（2023年9月）
創立	1976年10月	代表取締役	青木 啓之
資本金	1億円	所在地	〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-5-18 千代田ビル





食を通じて 世界の人々の暮らしを 豊かにする

UFIグループはこの企業理念を掲げ、事業活動を通じ サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

今、地球上では劇的な変化が続き、世界は混沌の中にあります。

人類を脅かす COVID-19 によるパンデミックのみならず、意見衝突による社会の分断が軍事戦争にまで発展する他、地球環境問題は着実に深刻さを増しています。

世界情勢は不確実性を増し、見通し困難な状況にある中、我々は、当社グループの従業員やその家族、地域社会の安全・安心を考慮し、社会との調和を図りながら、ステークホルダーの皆さまの期待に応える経営を推進して参ります。

 UNITED FOODS
INTERNATIONAL 代表取締役 青木 啓之

UFIグループの社会課題への取り組み

我々は、サステナブルな社会の実現のため、『事業活動を通じて社会に貢献する』という基本姿勢のもと、世界共通の課題でもある「2030年持続可能な開発目標の達成(SDGs)」及び「2050年カーボンニュートラル達成」に加え、各事業所周辺での地域貢献活動や、次世代教育に関わるイベントへの協賛などの社会貢献活動に

向け、UFIグループ一丸となって取り組んでおります。

また、「Environment (環境)」、「Social (社会)」、「Governance (企業統治)」の要素を考慮したESG経営を行うことで、社会課題解決への貢献と企業価値向上の両立を図り、持続的発展が可能な社会構築に貢献できるよう努力を続けております。

ESG方針

UFIグループの考えるESGとは、誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を実践することにより、社会の持続可能な発展に貢献することです。

01

日本のみならずグローバルな視野で
様々な環境・社会課題を認識し、
事業活動を通じて
その解決に向けた価値を
創造及び提供していきます。

02

私たちの事業プロセスが
環境・社会に与える影響を常に考慮し、
その継続的な改善を進めるとともに、
社会にポジティブな影響を
広めていきます。

03

ステークホルダーとの
コミュニケーションを通して、
社会からのリクエストに
適切に応えられているか、
私たちの活動を常に見直していきます。

UFIグループのサステナビリティ目標

6つの分野の貢献拡大 誠実かつ公正な事業活動 (CSR) + 長期的な成長を目標とした事業活動 (ESG)



2023年度の取り組み内容

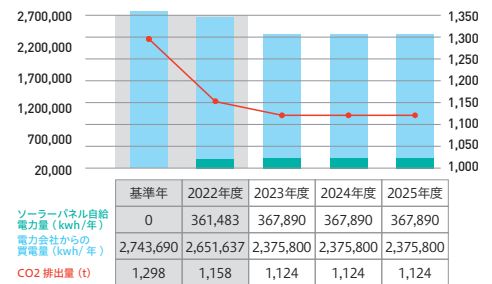
カーボンニュートラルの達成

ソーラーパネルの設置 (S・Tecつくば工場)

工場の屋根部分を利用し、ソーラーパネルを設置。再生可能エネルギーで電気を自給し、既存の契約電力会社からは不足分のみを購入することで買電量を下げ、CO2 排出量を削減しています。



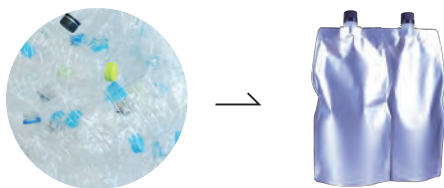
太陽光発電3年間予測 (2023-2025年度)



環境配慮型製造システムの確立

PETボトルのアルミパウチ化 (S・Tecつくば工場)

UFIグループでは2022年4月、環境配慮型パッケージ『アルミパウチ』への切り替えを強化することを目的に、スパウトパウチラインを導入いたしました。容器の体積削減・軽量化により、輸送にかかるエネルギーや使用後の廃棄容器量も圧縮でき、環境負荷の低減に貢献しています。



ゼロエミッションの推進

廃棄物の再利用

ゼロエミッションとは、あらゆる廃棄物をリサイクルすることで、最終的に処分する廃棄物を一切出さない資源循環型の社会システムを指します。また、二酸化炭素排出実質ゼロの意味でも使用されています。



リサイクル石鹸の導入 (廃食用油リサイクル)

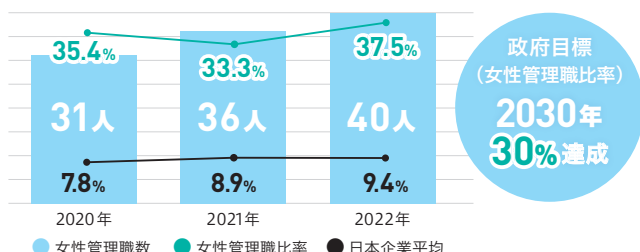


生ゴミ処理機の導入 (ゴミの水溶化)

ダイバーシティの推進と公正な評価

- ・ 多種多様な人材登用
- ・ ジェンダー平等の実現
- ・ 同一労働同一賃金の徹底
- ・ 女性管理職の割合増加

女性管理職数推移



事業活動の効率化

DXによる生産・管理業務の効率化及び資源・エネルギーの効率的利用

取り組み事例

- ・ 太陽光発電モニタリングシステム導入
- ・ テレワークの推進と環境整備

健康と安全の向上

- ・ 従業員の健康増進を目的とした「ライフ・イノベーション」の推進
- ・ 地域社会の安全向上